

## 刊行にあたって

校長 西 博文

研究紀要「あゆみ」第9号の刊行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本校は創立20年の、全日制、定時制、通信制の3課程が併置された単位制高校です。

「夢・実現」の校訓のもと、多様な学習歴・生活歴を有する幅広い年齢層の方が学んでいます。

定時制・通信制課程は、昭和23年から設けられている制度で、勤労青少年に高校教育を受ける機会を与えるものとして発足しました。

これまで「働きながら学ぶ」「学び直し」教育の機会を青少年期に提供する役割を担ってきた定時制・通信制学校教育は、生徒の若年化が進む中で、勤労青年のための教育機関としての役割だけではなく、多様な学習の要望に対応する役割を担うようになってきました。

特に本校は不登校経験、配慮を要する、支援を必要とする生徒が多く在籍し、その数は3課程ともに増えています。

全日制課程においては、通級指導がスタートして2年が経ちました。切れ目ない支援体制構築のために自立活動の時間だけでなく、各教科の授業でもユニバーサルデザインの視点に立った「わかる授業」づくりを研究しています。

本校の教育の基本は「学ぶ気持ち」です。

細かな校則や制服はなく、社会のルールやマナーを守り、自己責任・自己管理のもとで学校生活を送る。そして単位制の特色は、生徒自身が時間割を作成する、講座ごとに一緒に受講する生徒が異なる、90分授業で前期・後期の2学期制により半期で単位を修得できる。という点です。特色ある講座を設定することで、多様な学習ニーズに対応しています。また、学校生活を通して「共生社会」の実現を目指しています。

本研究紀要をご覧いただいた皆様から忌憚のないご意見やご指導等をお寄せいただければ幸いです。また、多忙な中、原稿を寄せていただいた先生方、編集に携わっていただいたすべての方々に心から感謝して序文とします。